

知ってほしい犬猫医学 Vol.1

フィラリア症

事実。
身近で危険。



命に関わる病気。

それが

フィラリア症。



こんな症状は要注意!

DOG



咳が出る



呼吸困難



食欲不振



元気がない



尿に血が混じる



お腹が膨らむ
(お腹に水が溜まる)

フィラリア症は、フィラリア(犬糸状虫)という
寄生虫が原因で引き起こされる病気のこと。
犬や猫の体内に侵入したフィラリアが
心臓や肺の血管に住み着くと
全身に様々な障害をもたらし、
場合によっては死に至るととても恐ろしい感染症です。

愛犬・愛猫をフィラリア症から
守るためには予防薬の投与が必要です。



はじめのうちは気づきにくいため
気になる症状があればすぐ獣医師にご相談ください

CAT



咳が出る



呼吸困難



食欲不振



嘔吐

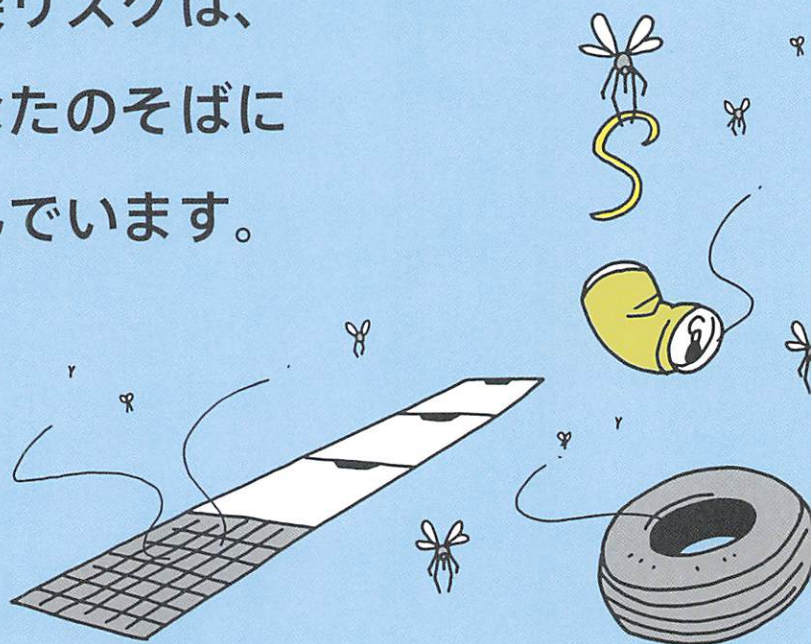


体重減少

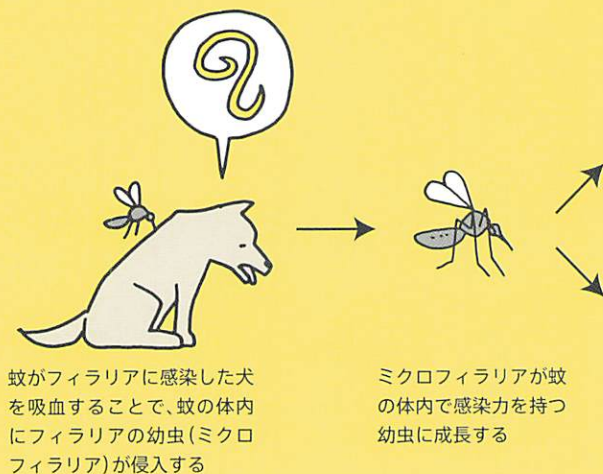


突然死

感染リスクは、
あなたのそばに
潜んでいます。



フィラリアの感染経路



蚊の体内から犬の体内へ
フィラリア幼虫が侵入する



蚊の体内から猫の体内へ
フィラリア幼虫が侵入する

“蚊”に媒介されて

犬や猫の体内に侵入するフィラリア幼虫。

運び屋の蚊は、下水溝や植木鉢、空き缶などのちょっとした水溜りでも繁殖するため、リスクはあなたの身近に存在します。



フィラリアの幼虫が体内に入ると・・・



薬が効く

皮下組織や筋肉・脂肪などで発育を続ける
肺や心臓の血管に向けて移動し、成長を続ける

薬が効かない

成虫になり、マイクロフィラリアを産む

↓
様々な症状を引き起こす

薬が効く

皮下組織や筋肉・脂肪などで発育を続ける
肺や心臓の血管へ移動し、一部が成長を続ける

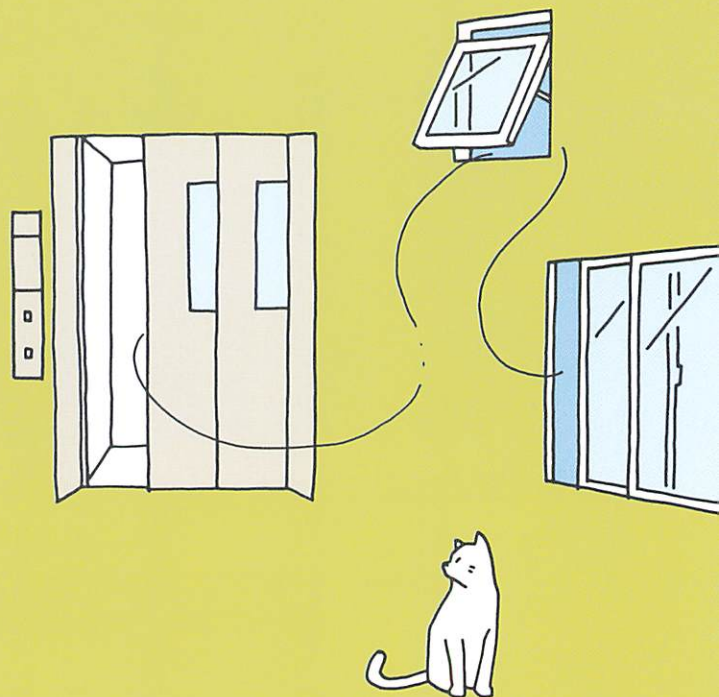
薬が効かない

肺がダメージを受け、咳や呼吸困難などの症状が現れる
成虫になり肺や心臓に寄生

↓
突然死を引き起こすことがある

室内飼育だから安全。

は、間違い。

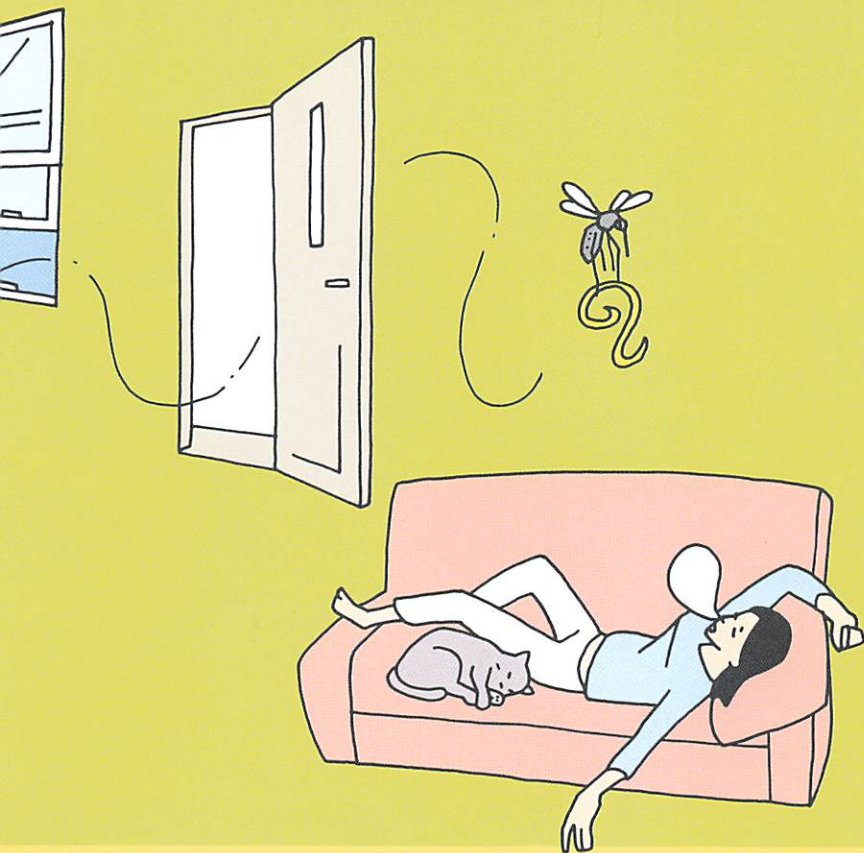


for CAT



約 4 頭に 1 頭が室内感染

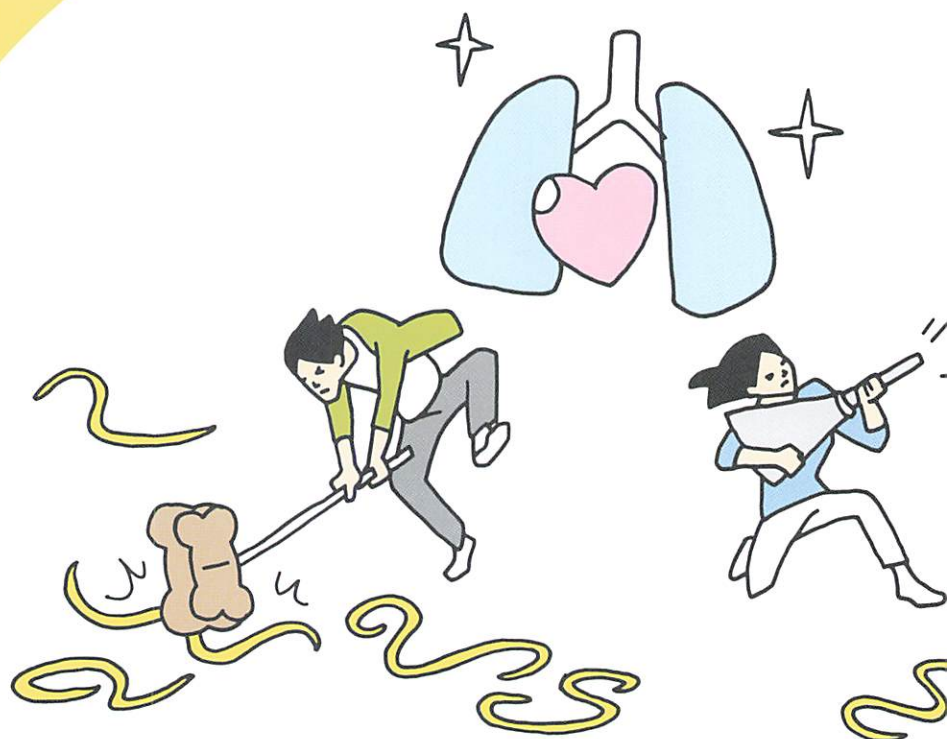
蚊が媒介するフィラリア症は、
“室内飼育”でも感染するリスクがあります。
例えば、マンションの上層階に暮らしていても
エレベーターを経由して侵入することもあるため、
感染経路を完全に断つことはできません。



アメリカの研究機関による調査では、フィラリアに感染している猫の約27%が「完全室内飼育」であったという報告※があります。この結果からわかるように、室内飼育の猫でもきちんとフィラリア症予防をすることが大切です。

※ Atkins CE, et al. J Am Vet Med Assoc. 2000;217(3):355-8.

予防薬では、
フィラリアの侵入を
防げません。



フィラリア症予防薬は、
感染を未然に防ぐのではなく
「フィラリア幼虫を駆除する」お薬です。
投薬をすることで、
犬や猫の体内に侵入したフィラリア幼虫が
肺や心臓の血管へ移動する前に駆除します。



**POINT
01**

フィラリア症予防薬には、蚊を寄せ付けないようにする効果はありません。蚊に媒介され犬や猫の体内に侵入したフィラリア幼虫を駆除することでフィラリア症になるのを防ぐお薬です。

**POINT
02**

ほとんどの予防薬は駆除効果が持続しないため、次の投薬日までの間は、愛犬・愛猫の体内でフィラリア幼虫が成長を続けている可能性があります。



**POINT
03**

予防薬で駆除できるのは、皮下組織や筋肉・脂肪で成長を続けている“感染初期”のフィラリア幼虫だけです。投薬が遅れ、フィラリア幼虫が肺や心臓へ移動を始めてしまうと、予防薬では駆除することができません。

“守り”、“続ける”ことが
フィラリアから守る
唯一の方法。



一般的なフィラリア症予防薬の場合、
一度でも投薬が遅れたり、忘れてしまうと、
フィラリア症になるリスクが高まってしまうのが
フィラリア感染の恐ろしさ。
確実に予防するためには毎月の投薬日を“守り”
最後の投薬月まで“続ける”ことを徹底してください。



**POINT
01**

“蚊が飛びはじめてから1ヶ月後”に投薬を開始し、
“蚊がいなくなってから1ヶ月後”まで投薬を続ける
必要があります。

**POINT
02**

投薬を忘れてたり、途中で投薬を止めてしまうと、
フィラリア幼虫が肺や心臓の血管に移動してしま
い手遅れになる可能性があります。

**POINT
03**

涼しくなり蚊を見かけなくなったとしても、犬や猫の
体内ではフィラリア幼虫が成長を続けている可能性
があります。自分の判断で投薬を止めず、獣医師の指
示に従って最後の投薬月まで続けることが重要です。

予防薬を 駆除効果の特徴で 選ぶこと。



for DOG

フィラリア



おやつタイプなど

駆除効果が短いタイプ

駆除効果は持続せず、犬の体内に侵入し成長していくフィラリア幼虫を、毎月1回の投薬でその都度駆除するタイプ。



スポットタイプなど

駆除効果が長く続くタイプ

駆除効果が長く続き、体内にフィラリア幼虫が侵入したとしても、成長を許さず、すぐに駆除してくれるタイプ。



獣医師に
相談

犬の場合、フィラリアに感染している状態で予防薬を投与すると、ショック症状を起こす可能性があります。昨シーズンちゃんと投薬していたとしても、知らないところでお薬を吐き出してしまっていたなど、お薬の成分がきちんと吸収されてない可能性もあるので、予防を始める前に毎年必ず血液検査が必要です。

さまざまな種類のフィラリア症予防薬がありますが、
確実にフィラリア症を予防するためにも
駆除効果の特徴を考慮してお薬を選ぶのがおすすめです。
愛犬や愛猫に合ったお薬を探してみましょう。



for CAT

防薬の特徴



スポットタイプ

室内飼育猫にオススメのタイプ

室内でも感染リスクのあるフィラリア・ノミ・おなかの虫をしっかり駆除できるタイプ。

外に出かける猫にオススメのタイプ

外出時に感染リスクのあるマダニも、あわせて駆除できるタイプ。



獣医師に
相談

猫のフィラリア症は確実な診断が難しいため、予防薬を投与することが最善の対策です。

DOG

こちらの間診票にご記入いただき
診察時に獣医師へご提出ください。

Q1 昨年、愛犬のフィラリア症予防をしましたか？

- 予防した(Q2へ) 予防していない(Q3へ) わからない(Q3へ)

Q2 昨年のフィラリア症予防であてはまるものはどれですか？

毎月の投薬日について

- 毎月決められた日に確実にお薬を投薬できた
 決まった日の投薬をたまに忘れることがあった
 獣医師に投薬をしてもらった
 わからない

投薬期間について

- 獣医師から指示された最終投薬月まできちんと投薬をした
 投薬を忘れた月があった
 投薬を途中でやめてしまった
 獣医師に投薬をしてもらった
 わからない

Q3 愛犬は食物に対するアレルギーはありますか？

- ある ない わからない

Q4 当院で今年のフィラリア症予防薬の処方を希望しますか？

- 処方を希望する(Q5へ)
 処方を希望しない
 わからないので、もう少し詳しくフィラリア症について聞きたい

Q5 どちらのタイプのフィラリア症予防薬を希望されますか？

- 体内に侵入し成長を続けるフィラリア幼虫を、毎月1回の投薬で駆除するタイプ
(おやつタイプなど)
 体内にフィラリア幼虫が侵入してもすぐに駆除できる、効果の続くタイプ
(スポット薬など)
 獣医師と相談して決めたい

CAT

こちらの問診票にご記入いただき
診察時に獣医師へご提出ください。

Q1 愛猫をどこで飼育していますか？

- 完全室内飼育(室内から出ることはない)
 室内室外飼育(室内と室外を出入りする)
 室外飼育(外で暮らしている)
 その他

Q2 去年は愛猫のフィラリア症予防をしましたか？

- 予防した 予防していない わからない

Q3 当院で今年のフィラリア症予防薬の処方を希望しますか？

- 処方を希望する(Q4へ)
 処方を希望しない
 わからないので、もう少し詳しくフィラリア症について聞きたい

Q4 どちらのタイプのフィラリア症予防薬を希望されますか？

- 室内飼育猫にオススメの、フィラリア・ノミ・おなかの虫が駆除できるタイプ
 外に出かける猫にオススメの、マダニもあわせて駆除できるタイプ
 獣医師と相談して決めたい

Q5 フィラリア症予防で気になることはありますか？



バイエル薬品株式会社 動物用薬品事業部

〒100-8265 東京都千代田区丸の内1丁目6-5 www.bayer-ah.jp

【お問い合わせ先】 0120-126-471